

雇用先アンケート集計

①対象卒業生 2018年3月卒業生

150名の卒業生のうち斡旋不要者10名と未内定者2名を除く138名が対象。

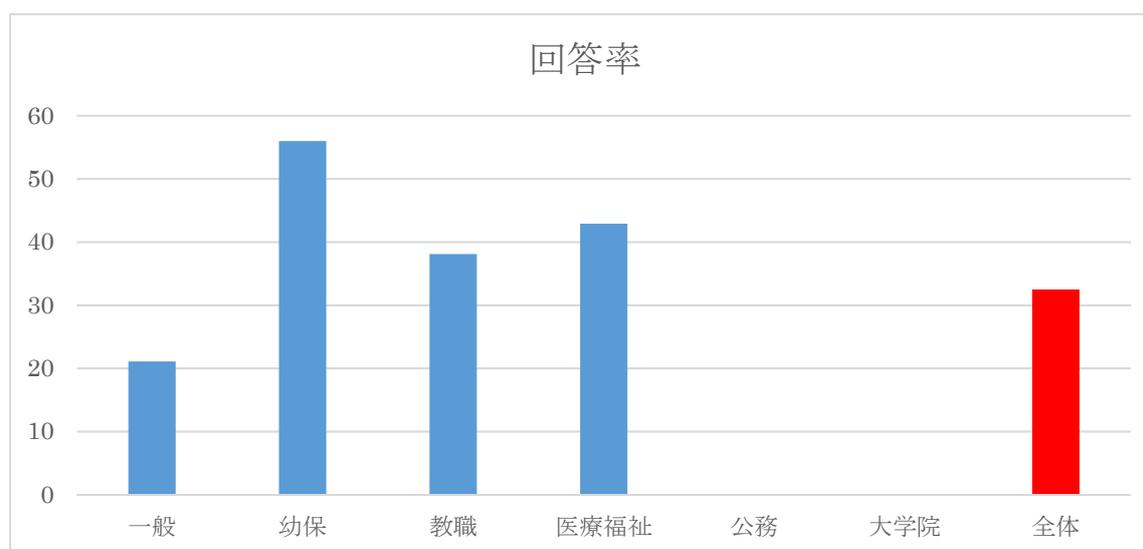
対象者のうち重複雇用先を除いた、123社にアンケートを実施。

②アンケート投函日 2019年8月1日

③アンケート締切日 2019年8月31日

発送先	発送件数	回答数	回答率%
一般企業	57	12	21.1
保育園・幼稚園	25	14	56.0
小・中学校、支援学校等	21	8	38.1
医療・福祉・病院	14	6	42.9
公務	2	0	—
大学院	4	0	—
合計	123	40	32.5

*回答欄に会社名が明記されていない4先のアンケートは、内容により判断し下記に区分け。
(一般企業1、保育園・幼稚園2、医療・福祉・病院1)



Q3、Q4の本社所在地、資本金等についての回答は省略。

Q5以降の質問の身につけるべき能力の点数は

5 身につけている 4 概ね身につけている 3 少しは身につけている

2 あまり身につけていない 1 身につけていない 0 わからない

で回答を依頼している。

Q5 本学学生が卒業時に身につけるべき能力

(I) 【一般企業】

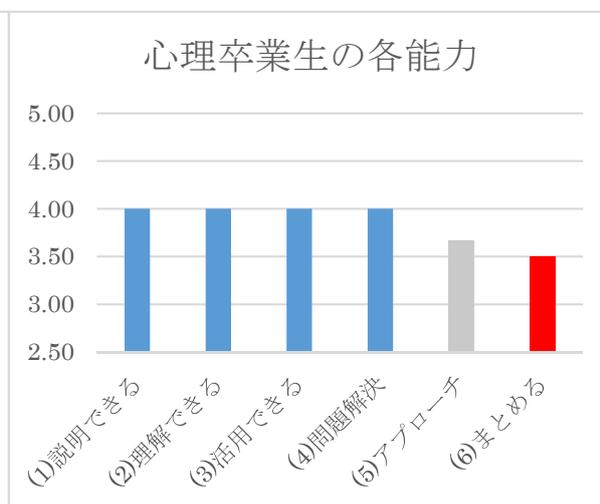
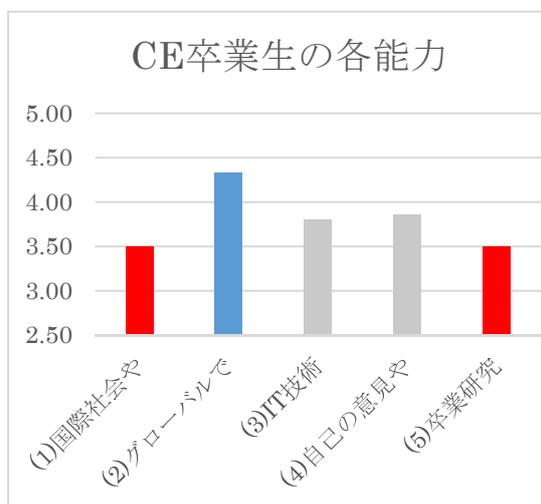
勤務する本学卒業生数

0名・・・2社 1から4名・・・6社 5から10名・・・3社
 把握していない・・・1社 合計12社

(赤字; 下位点数、青字; 上位点数)

	身につけるべき能力・・・キャリア・イングリッシュ専攻卒業生	回答幅	平均点
1	国際社会や実務で通用する英語運用能力（読む・書く・聞く・話す）を修得し活用できる	3.00～4.00	3.50
2	グローバルで幅広い視野と深い教養を身につけ、異文化社会の多様性を理解できる	4.00～5.00	4.33
3	IT技術、情報リテラシーやビジネスに関する知識・倫理観、社会人としてのコミュニケーション力を身につけている	3.00～5.00	3.80
4	自己の意見や考えを積極的且つ適切に他者に対して発言・発信できる	2.00～5.00	3.86
5	卒業研究を通して、自ら課題を分析し、解決・結論に導く方策を構築できる	3.00～4.00	3.50

	身につけるべき能力・・・心理臨床学科卒業生	回答幅	平均点
1	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる	4.00	4.00
2	心理学、特別支援教育、精神保健福祉のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる	4.00	4.00
3	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の専門的知識を身につけ、現場で活用できる	4.00	4.00
4	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる	4.00	4.00
5	多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、心理学、特別支援教育、精神保健福祉の視点を活かしてアプローチすることができる	3.00～4.00	3.67
6	心理学、特別支援教育、精神保健福祉に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる	3.00～4.00	3.50

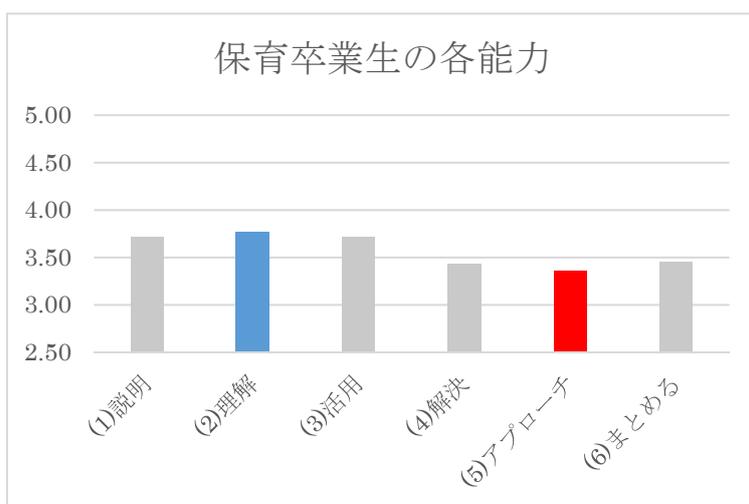


(2) 【幼稚園・保育園】

勤務する本学卒業生数

0名・・・1園 1から4名・・・12園 5から10名・・・1園 合計14園

	身につけるべき能力・・・保育コース卒業生	回答幅	平均点
1	保育・幼児教育の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる	2.00～5.00	3.71
2	保育・幼児教育のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる	3.00～5.00	3.77
3	保育・幼児教育の専門的知識を身につけ、現場等で活用できる	3.00～5.00	3.71
4	他者との協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる	2.00～5.00	3.43
5	多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、乳幼児理解の視点を活かしてアプローチすることができる	2.00～5.00	3.36
6	保育・幼児教育に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し結果を整理して考察をまとめることができる	2.00～5.00	3.45



(3) 【小・中学校、支援学校等】

勤務する本学卒業生数

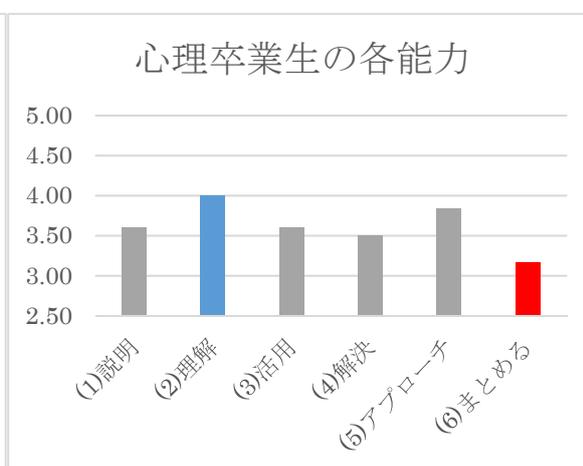
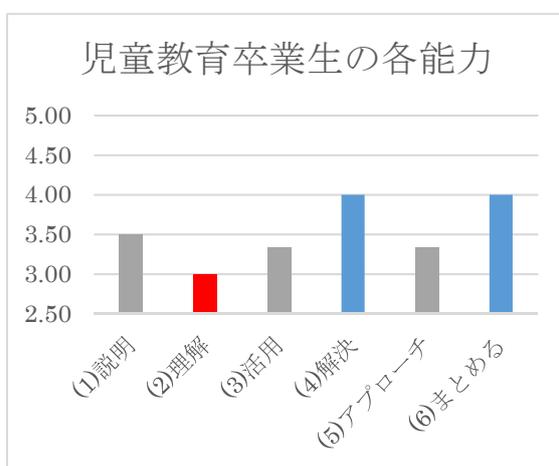
0名・・・1校

1から4名・・・7校

合計8校

	身につけるべき能力・・・児童教育コース卒業生	回答幅	平均点
1	教育学や子ども学、教科内容や教科教育学の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる	3.00～4.00	3.50
2	教育学や子ども学、教科内容や教科教育学のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる	3.00	3.00
3	教育学や子ども学、教科内容や教科教育学の専門的知識を身につけ、現場等で活用できる	3.00～4.00	3.33
4	小学校等での実習や様々なボランティア活動における協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる	4.00	4.00
5	多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、教育者としての視点を活かしてアプローチすることができる	3.00～4.00	3.33
6	教育学や子ども学、教科内容や教科教育学に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる	4.00	4.00

	身につけるべき能力・・・心理臨床学科卒業生	回答幅	平均点
1	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる	3.00～4.00	3.60
2	心理学、特別支援教育、精神保健福祉のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる	4.00	4.00
3	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の専門的知識を身につけ、現場で活用できる	3.00～4.00	3.60
4	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる	3.00～4.00	3.50
5	多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、心理学、特別支援教育、精神保健福祉の視点を活かしてアプローチすることができる	3.00～4.00	3.83
6	心理学、特別支援教育、精神保健福祉に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる	3.00～4.00	3.17



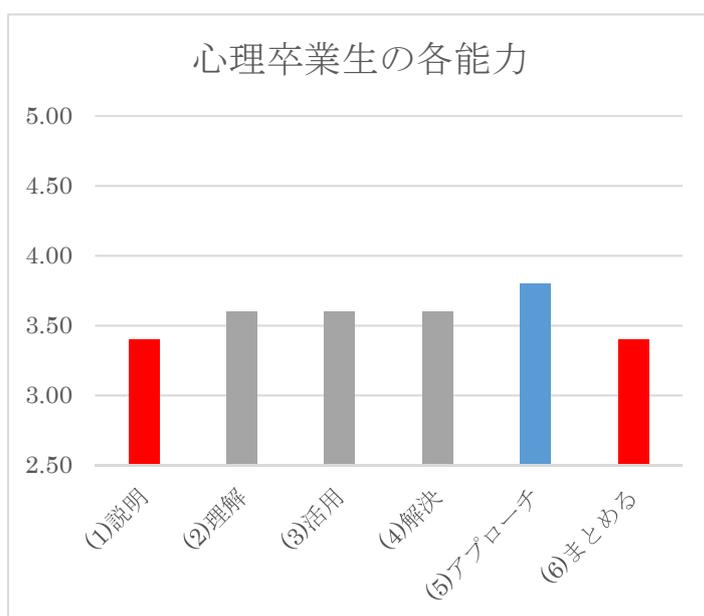
(4) 【医療・福祉・病院】

勤務する本学卒業生数

0名・・・1社 1から4名・・・5社 合計6社

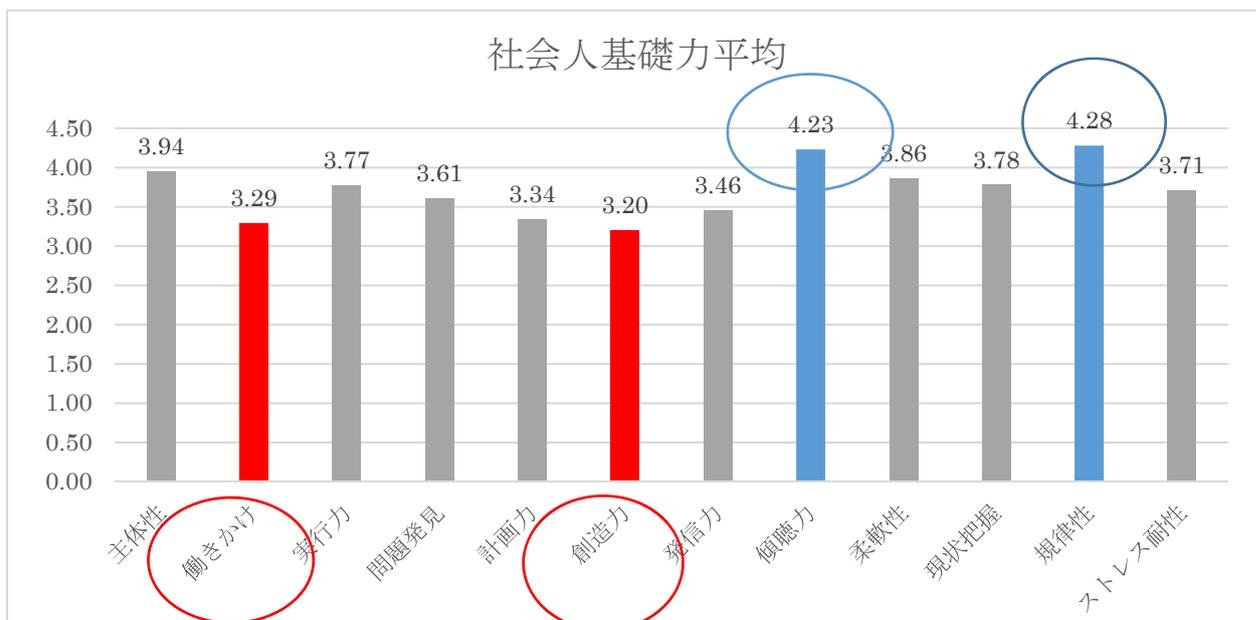
	身につけるべき能力・・・心理臨床学科卒業生	回答幅	平均点
1	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる	3.00～4.00	3.40
2	心理学、特別支援教育、精神保健福祉のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる	3.00～4.00	3.60
3	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の専門的知識を身につけ、現場で活用できる	3.00～4.00	3.60
4	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる	3.00～4.00	3.60
5	多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、心理学、特別支援教育、精神保健福祉の視点を活かしてアプローチすることができる	3.00～4.00	3.80
6	心理学、特別支援教育、精神保健福祉に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる	3.00～4.00	3.40

キャリア・イングリッシュ専攻卒業生は1名のため省略



Q6 社会人基礎力をどの程度身につけているか

12の能力	内容	一般	幼保	小中	医療	平均
(1) 主体性	物事に進んで取り込む力	4.14	3.86	3.75	4.17	3.94
(2) 働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	3.43	3.21	3.00	3.67	3.29
(3) 実行力	目的を設定して確実に行動する力	3.71	3.64	3.75	4.17	3.77
(4) 課題発見力	現状を分析し目的や課題を見出す力	3.88	3.64	3.13	3.83	3.61
(5) 計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにする力	3.29	3.29	3.38	3.50	3.34
(6) 創造力	新しい価値を生み出す力	3.29	3.14	3.00	3.50	3.20
(7) 発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	3.43	3.43	3.25	3.83	3.46
(8) 傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	4.57	4.00	4.25	4.33	4.23
(9) 柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	3.86	3.79	3.75	4.17	3.86
(10) 状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	3.75	3.64	3.88	4.00	3.78
(11) 規律性	社会のルールや人との約束を守る力	4.38	4.07	4.38	4.50	4.28
(12) ストレス耐性	ストレスの発生源に対応する力	3.71	3.57	3.75	4.00	3.71



Q7 貴社・貴団体にとって必要と思われる能力・資質
(各社5つの能力を選択)

12の能力	内容	一般	幼保	小中	医療
<u>(1) 主体性</u>	物事に進んで取り込む力	11	8	6	4
(2) 働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	3	0	2	0
<u>(3) 実行力</u>	目的を設定して確実に行動する力	9	8	7	3
(4) 課題発見力	現状を分析し目的や課題を見出す力	2	4	2	2
(5) 計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにする力	0	9	1	4
(6) 創造力	新しい価値を生み出す力	3	5	3	2
(7) 発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	4	3	4	0
<u>(8) 傾聴力</u>	相手の意見を丁寧に聴く力	9	8	4	5
(9) 柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	3	8	2	3
(10) 状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	5	5	4	4
(11) 規律性	社会のルールや人との約束を守る力	5	6	3	1
(12) ストレス耐性	ストレスの発生源に対応する力	6	6	2	2

一般企業に必要とされる能力

人の話や意見を聴き、自ら考え目標達成のために、進んで行動する力

保育園・幼稚園に必要とされる能力

一般企業に求められる能力に加え、計画力や柔軟性等広い力。

小・中学校、支援学校に必要とされる能力

一般企業に求められる能力に加え、現状を把握する力や分かりやすく伝える力。

医療・福祉・施設に必要とされる能力

一般企業に求められる能力に加え、現状を把握する力や問題解決に向けた計画力。

Q8 12の能力以外に、学生時代に身につけてほしい力

(1)【一般企業】

- ・コミュニケーション力。お客様対応が基本の業務となりますので、相手の話を傾聴するだけでなく、理解し相手の質問にわかりやすく答える基本が身につけているとスムーズに仕事に馴染めると考えます。
- ・コミュニケーション力。協調性。
- ・相手が求めていることを察知し、回答できるコミュニケーション能力です。
- ・12の能力で十分だと思います。
- ・想像力（自分の言動がその後周囲にどのような影響を与えるかなど）
- ・継続力（自分に合わないと思ったことでも少しはその状況や背景を理解しようとする姿勢
- ・社会の厳しさを実感する。
- ・コミュニケーション力。論理的思考。リーダーシップ経験。（チームを牽引、フォロー）。
- ・

(2)【保育園・幼稚園】

- ・社会人として一般常識（日常生活）を学んでほしい。これは家庭で身につけなくてはいけないことだと思いますが、電話のかけ方（今はメール、SNSの影響ですか?）が出来ない方が多いですね。
- ・育った環境もあると思いますが、自分の事だけでなく、まわりに気付く、まわりの状況を見る力があればいいなと思います。
- ・先輩職員や保護者との関わり方や対応のしかた。
- ・心身の健康・逆境力。
- ・新卒の方に対しては基本的なこと（挨拶、報告、連絡、相談）は身につけていて欲しい。就職はゴールでなくスタートであると理解し、努力しないとうまくいかない。自分だけでどうにかできると思わず、先輩方に相談したり、頼る術があるということをサークル活動やチームプレイで学んでほしい。
- ・自分らしさをどう仕事に活かすかという視点力、考える力
- ・物事に積極的に取り組む姿勢が足りない、現状で満足している。
- ・12の能力・資質が備わっている人物がいれば、それは素晴らしいことだと思います。ただ人間なので、多少のばらつき、得意・不得意があることは仕方のないことだと思います。それを組織としてカバー出来るように、苦手な部分は他者を頼ったり、他者の苦手な部分を受け入れたり出来るような関係性を築くための、寛容性のある魅力的な人格者が求められているように感じています。
- ・保育技術を越えて、人を大事にする気持ち、倫理感、人権感覚が必要であると考え。人を創っていく保育士等の基盤となる優しさを身に付けてほしい、人間性があってこそ専門性は輝くと考え。
- ・保育士になるのであれば、簡単なピアノ曲ぐらい弾けるようになってほしい。4年間練習すればある程度できるはず。

(3)【小・中学校、支援学校等】

- ・スケジュール管理の力。
- ・教員としての使命感、教育への情熱、実際に子どもを指導できる実践的指導力。
- ・汎用的な能力、学び続ける力、ひとりひとりを大切にできる人権意識。
- ・社会人としての基本的な礼儀、他者との対人関係構築力。
- ・子ども理解と子どもに対する教育的愛情。人権感覚。
- ・コミュニケーション能力及び語らい力をぜひ身につけてもらいたいです。
課題に臨機応変に対応する力や柔軟に対応する力が必要だと思われま
す。
(本校勤務の先生方にはほぼ身につけていると考えます)

(4)【医療・福祉・病院】

- ・コミュニケーション力を身につけて欲しいと思います。「状況把握力」にもつながるか
と思いますが、最近の学生さんで、質問に対する答えが的からズレていたり、会話のキ
ャッチボールが出来ない方が目立っています。
- ・家事を通して身につけられるような能力。パソコンのスキル。
- ・「相談する」こと。誰かに相談するかがまずは重要だと思います。大切なことはあらかじ
め相談し、助言を受け止めながら決めていくことが“失敗しない”ことにつながると思
います。
- ・専門分野だけでなく、日本及び世界情勢にも興味をもってほしい。

Q9 本学の学生のどのような点を評価して採用していただいたのか

(1)【一般企業】

- ・相手の話を傾聴し素直に丁寧に答えることができた点。
率先して物事に取り組、チャレンジ精神が高い点。
- ・受け答え、人柄、印象など総合的にみて、当社の社風や業務に合うと判断しました。
- ・「誰かのために仕事をしたい」という人を思いやれる心を評価しました。
- ・明るく素直で礼儀正しい。 仲間を大切にしている。
目標に向かって努力・工夫できる。
- ・柔軟性や傾聴力が高く、相手のことを考える姿勢を評価しました。実際にお客様対応でも力を発揮して業務を行っております。
- ・「営業」という仕事に熱意をもって取り組もうとするところです。
- ・コミュニケーション力、リーダーシップ、論理的思考。
- ・自分自身のことを自分の言葉で伝えることができる表現力や素直さがとても魅力的でした。また J-Shine など英語関係の資格取得を頑張っていた点です。
- ・前向きで成長意欲が高い。
良い距離感でコミュニケーションができる。
精神保健福祉士の資格取得を頑張った。

(2)【保育園・幼稚園】

- ・子ども一人ひとりを大切にするというキリスト教保育をきちんと学んでいる。
保育能力、事務能力が高い。特別支援教育をきちんと学んでいる。
- ・幼稚園なので、音楽力がすばらしかった点です。
- ・礼節で先輩に対してなんでも教えを受ける態度があり、二人共素直であり、前向きな姿勢が見られましたので採用しました。
- ・採用は市からですが、二人とも素直です。失敗もありますが、しっかり次につなげて本人たちなりに頑張ってくれていると思いますので、応援しています。
- ・本園でアルバイトをしていただいていた。
- ・様々な質問に対して、自分の考えを丁寧に伝えようとする態度。
- ・最終的には同僚とうまくいく人物か面接してみても決定する。一つ一つの能力も大事だが、クラス運営をするにあたり、時には主体的に、時にはフォローをするというチームプレイができるか、今の方はよその経験をされてからうちの採用ですが、うちの方針も理解し、周りともうまくやってくれている。
- ・話をしっかり聞こうとする点を評価しました。
- ・実習の折、社会のルールや人との約束ごとを守る学生として採用した。
- ・何ごとにも一生懸命に物事に取り組もうとする点。
- ・よく努力している。先輩を大切に、同僚との和を保ち、仕事をする、安心して子どもを任せることができる。
3名採用させていただいているが、この園で更により保育士・社会人となるように育てていきたい。

(3) 【小・中学校、支援学校等】

この質問に関しては、県・市の採用のため、特に回答なし。

素直で、物事にまじめに積極的に取り組むという点は評価できると思います。との意見あり。

(4) 【医療・福祉・病院】

- ・担当の先生からの紹介
- ・夏休みに1ヶ月ほど実習（アルバイト）をして下さいました。自ら進んで福祉の現場を知ろうとする姿勢や熱意、人柄など総合的に評価し、是非当法人で働いてほしいと思ったからです。
- ・様々な社会問題に対する関心があり、その解決に自分自身も関わろうとする姿勢。誠実で実直な人柄。行動力。
- ・健康的なところ。協調性（サークル活動）があるところ。
- ・コツコツと積み重ねて遂行していくところ。

Q10 本学の卒業生にどのようなイメージをお持ちなのか

(1)【一般企業】

- ・ 礼儀正しく、目標を明確にもって取り組んでいるイメージです。指導も素直に受け入れ、成長度合いも非常に高く心強い戦力となっています。
- ・ 特別なイメージはありませんが、礼儀などの基本的な事は身に付いています。
- ・ 特に明確に抱くイメージはございません。
- ・ 明るく素直で礼儀正しい。仲間を大切にしている。目標に向かって努力工夫できる。
- ・ 品があり、芯の強さを感じます。
- ・ まだイメージを持つに至っておりません。申し訳ありません。
- ・ コミュニケーション力、リーダーシップ、論理的思考が備わっている。
- ・ とっても謙虚で素直な方が多いです。貴学のホームページ等を拝見し、貴学の理念や想いが、学生方の人柄にとってもよく表れており、弊社としましてもさらに貴学の学生の方を採用させていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。
- ・ サービス業に向いている女性が多いイメージです。

(2)【保育園・幼稚園】

- ・ 最近の卒業生はととても能力が高く、信頼しています。
- ・ ととても好印象をもっております。礼儀正しい・時間をきちんと守るなど、基本的なことが身についています。楽器などの演奏も基礎がきちんと身につけているので、子どもたちに良い音が届けられます。すばらしい先生を教育してくださった貴大学には、とても感謝しております。
- ・ 学生に対してととても熱心に指導されている。環境が整備されている。
- ・ 先生方が温かく、しっかり生徒に向き合ってくださいるイメージです。卒業生はしっかり頑張ってくれています。
- ・ 保育士として、保育優先で雑用的な事に目が向かない。
- ・ 意欲的で明るい。学ぼうとする意欲がある。
- ・ 先生方の手が行き届いて良い反面、学生の自分で考えるという力があるといいというイメージ。ただし学校がというより、家庭での育ちが関係しているのではないかと思う。
- ・ まじめな学生さんが多いと思います。もっと積極的な面もあつたら良いと思います。
- ・ 広範囲の学びをしていて、人格形成も充分できている。やはり4年間の学びの厚さを感じる。真面目で礼儀正しく、良い意味でのプライドを持っている。

(3) 【小・中学校、支援学校等】

- ・手厚く支援してもらって一般常識や、様々な能力を身につけている人が多い印象。
- ・教員としての最低限必要な基礎・見本を身につけている。
教師集団の先頭に立って、学校を引っ張っていくような高い実力を備えるような方には、まだ出会ってない。（と言っても、お会いした方は2人なので・・・）
- ・仕事や対人関係においてとても誠実である。
社会人としての基本的な礼儀を身につけている。
- ・特にこれといったイメージは持っていません。
- ・笑顔が素敵で、頑張り屋というイメージです。また以前自分のクラスで実習した生徒さんがおられ、立派に教員を続けておられてうれしく思います。貴学の先生方が大変細やかに指導されている様子がよくわかります。

(4) 【医療・福祉・病院】

- ・真面目なイメージです。
- ・真面目、努力家、素朴なイメージです。
- ・周りのスタッフからも信頼が厚く、日々悩みながらも成長している姿が見られます。
- ・真摯に物事に取り組む姿勢。

*本アンケートに対する、各学科・専攻より所感

キャリア・イングリッシュ専攻

一般企業では、英語運用能力と課題解決能力があまり評価されていない。本学生は、基礎力として、規律を重んじ、指示には従っているが、他人への働きかけや、想像力などの対人的コミュニケーション力が低いように思われる。

企業では、社会の厳しさの実感が求められており、進路達成の準備から、より高度な能力取得が必要であろう。

学校では、他者との対人関係構築力があり、比較的似通った学生集団であるので、多様な集団との触合いも必要と思える。またリーダー的な人材を求める意見もあり、そのための工夫も必要ではないか。

保育コース

保育コースの学生は、入学時から保育者（保育士・幼稚園教諭・保育教諭）を目指して学びを深めてきている。従って、希望が叶って就職できたことの喜びは大きいと考えられる。一方で、4年間の学びの中で自身を振り返りながら、実習を通過していくなかで、新たな保育者像や理想のワークライフバランスを模索しながらの就職1年目であると予想できる。

今回の結果をみると、点数は中間点にある。しかし、先のような背景を鑑みたとき、自分自身に向き合いながら、自己省察が丁寧に行われている証だと分析できた。

今後、専門職として長い時間をかけながら、保育の道の働き甲斐や希望を持って自己研鑽できることを期待したい。そのためには、周囲の保育者の温かなまなざしが重要になるということが読み取れた。

児童教育コース

児童教育コースの学生は4年間の実践的なカリキュラムを通して学びを深めてきた。目標を達成して小学校の教員になれた喜びは大きいと思われる。一方で、教育現場における多岐にわたる仕事や様々な課題に直面し、今後も様々な実践力を身につけて学び続ける必要があることを実感する1年目であったと思える。

今回の様々な結果をみると、小学校教員としての基本的な資質・能力は身につけているが、教師集団の先頭に立って学校を引っ張っていくような高い実力までは獲得できていないようである。今後はレジリエンスの育成や教育現場におけるリーダー的な人材を育てることへ、さらに注力する必要があることが読み取れた。

心理臨床学科

心理臨床学科の学生の進路選択は、一般企業、教育、福祉、医療など多岐にわたり、学生のペースも様々である。この多様な進路選択の学生同士が交流することにより、日常面での柔軟な考え方にもつながっていると考える。今回の企業アンケートからは一般企業からの評価は高く、真面目である点については評価された。

一方、全ての職域から専門性について自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめる研究の視点においてやや評価が厳しい結果となった。

また、教育分野と医療・福祉・病院領域では専門能力を基礎として実践する面、さらに医療・福祉・病院からは、心理学、特別支援教育、精神保健福祉の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる力が求められている。今後は、論理的思考と考察力、発信力を高める必要がある。

以上